

事業所名

放課後等デイサービス あるく・さん

支援プログラム

作成日

2024 年

9 月

9 日

法人（事業所）理念		『みんなで まあるい笑顔。まあるい言葉。まあるいチームワーク。』 いろいろな人がいるから、一人ではできない、いろいろな思いに気づけ、知り、学ぶことが出来る。そして、行動を共にすることで、一人では絶対にできない、喜んでもらうこと、喜びあえること、みんなであられる笑顔になることができる。まあるい言葉やまあるいチームワークも生まれる。							
支援方針		社会で暮らしにくさを感じることが多い保護者や児童に「遊」を目標にサービスを提供します。楽しく意欲がもてる活動をする中で、他者との関わり方を学ぶと共に社会ルールの基礎を養います。また、自分を大切にしたい気持ちを育てるために自己効力感を高められるように支援します。							
営業時間		9 時	00 分	から	17 時	00 分	まで	送迎実施の有無	あり
		支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	・将来心身ともに健康で自立した生活をするために体調の管理、生活スキルの獲得を目指します。個々人のスキルや特性に応じてプロンプトを与えながら、適切な行動に導く支援を行います。また、自分でできる事を増やしていくことで自信につなげ自己効力感を育みます。 ・保護者と生活リズムや習慣を整えることの大切さを共通認識としてもち、情報の共有や適切な助言をすることで家庭との連携を取っていきます。							
	運動・感覚	・心身ともに健康であり続けるために運動教室などのレクリエーション活動や制作活動を通して身体を動かしたり、指先を使って物を作ったりする楽しさを体験してもらいます。 ・自身の感覚の特性に気づき必要に応じて十分に活用できるよう遊びを通して支援します。活動を通して事業所外の社会的な場面における適応能力の向上のための支援を行います。							
	認知・行動	・一人一人の認知の特性を理解し、こだわりや偏食などに対する支援をします。活動を通して、視覚、聴覚、触覚などの感覚を活用して、認知機能の発達を促す支援をします。経験した認知機能を手掛かりとして活用できるよう支援します。							
	言語 コミュニケーション	・言葉によるコミュニケーションだけでなく、表情や身振り、指差しや筆談など様々な方法で意志のやりとりができるよう支援します。子ども会議などで伝える力、受け取る力を身に付け、状況に応じたコミュニケーションを展開できるよう支援します。							
	人間関係 社会性	・活動や遊びを通して、相手の気持ちや考えを知り、社会性の発達や対人関係の構築を目指します。集団活動に参加するための手順やルールを学び、子ども会議にてお互いの存在を認め合えるよう支援します。							
家族支援		日常生活において、本人の意志を尊重しながら、やり取りする場面を増やす。 ・子どもの発達状況や特性の理解に向けた相談援助 ・子育てや障害等に関する情報提供 ・家族の子育てに関する相談援助 きょうだいへの相談援助等の支援 保護者同士の交流の機会の提供（保護者会を、年1回以上開催し参加を促します。） レスパイトや就労等の預かりニーズに対応するための支援等			移行支援		・地域社会への参加・包摂（インクルージョン）の推進として、日常的な、レクリエーション等の活動の際には、説明の方法や促し方について共有する。地域の公共の場所でのルールや活動の仕方を学んだり、他事業所等との交流することで周囲の人との関わり方が学べるように、レクリエーションや療育室以外の場所で活動します。 ・進級、進学期には、年齢に応じて段階分けされた同法人の別事業所への移行等も踏まえて、支援の一貫性を図って行きます。		
地域支援・地域連携		・各関係機関からの情報に基づき、具体的な場面での本人との関わり方の提案やポイントについて助言を行います。			職員の質の向上		・社外研修への参加、研修で得たものを毎月職員会議で報告する体制。 ・毎月のセクションミーティングで児童やレクリエーションの振り返りを行い、児童との関わり方や取り組み方の意見交換を行っています。		
主な行事等		・クッキングレク ・避難訓練 ・お買い物レク ・春まつりお花見 ・制作 ・お誕生会 ・夏まつり縁日 ・外出レク ・秋まつり収穫祭 ・音楽リズム ・冬まつりクリスマスフェスティバル ・運動教室 ・乗り物レク							